

慶祝

おめでとうございます
心より祝福いたします

◎厚生労働大臣特別表彰(前民生委員)
小松 勇様 (榎山石塚町)
故 佐々木正次様 (榎山城南町)

◎秋田市民憲章推進協議会住民活動賞
佐藤美智子様 (南通宮田)

◎秋田市民生児童委員協議会会長表彰
根田 文子様 (榎山川口境)

◎秋田市長表彰 民生功労

岡田 弘子様 (南通みその町)
佐藤 祐子様 (榎山金照町)

◎秋田市長表彰 自治振興(町内会長)

福田 洋介様 (榎山南中町)
三浦 五郎様 (榎山城南町)

◎秋田県児童館等連絡協議会会長表彰
加藤 俊悦様 (榎山南中町)

「築山地区敬老会」 中止のお知らせ

恒例の今年度の築山地区敬老会は
新型コロナウイルスの感染防止のため
中止することにいたしました。
当地区の敬老会者様の皆様には、
例年通りにお祝い品をお届けいたし
ます。
ご対象の方は、本年度末で満75歳
以上(昭和21年4月1日以前のお生
まれ)の皆様です。

地域の善意

心よりお礼を申し上げます

◎新型コロナウイルス防止用「手作り
マスク」の寄贈(4月28日)

佐藤 政子様 (榎山太田町)
当地区社協福祉協力員の佐藤様から
当地区社協へマスク50枚をいただき
秋田婦人ホームへ寄贈いたしました。

会務報告

令和2年3月〜令和2年8月

3月1日 「築山社協だより第57号」
を発行し、民生委員・町内会長を介し
て全世帯に配布

3月4日 「市共募実績報告会・市
社協事務担当者研修会」に会長が出席

3月24日 新型コロナウイルスの感
染防止のため、当地区社協の役員会及
び定期総会の開催日の延期を決定し、
関係者に通知

4月3日 令和元年度会計監査実施
また、令和2年度の当地区社協役員会
及び定期総会の中止を決定

4月13日 「築山地区社協定期総会
書面議決書」「定期総会議案書」を各
町内会長等関係者に発送

5月27日 「市社協連絡会幹事会」
に会長が出席

5月29日 「市共同募金委員会運営
委員会」に会長が出席

6月5日 「市社協評議委員会」に
会長が出席

6月9日 当地区社協三役会で、今
年度の敬老祝賀行事(式典・祝賀会)
の中止を決定

6月9日 「築山社協だより第58号」
の編集委員会を榎山コミセンで開催

6月17日 「築山児童センター運営
委員会」に会長らが出席

6月27日 「サロン・ならこみ運営
委員会」に会長らが出席

7月1日 「敬老会調査」・「敬
老祝賀会の中止のお知らせ」・「総会書
面議決結果報告書」を各町内会長・民
生児童委員・当地区社協役員及び福祉
協力員に発送

7月17日 共同募金運動資材を市共
同募金委員会に申請

8月17日 「築山社協だより第58号」
の編集委員会を榎山コミセンで開催

謹んで哀悼の意を 表します

築山地区社会福祉協議会
元福祉協力員 石郷岡タキ子様
令和2年6月16日(逝去・80歳)

◆編集後記◆

7月上旬、活発な梅雨前線の影響に
よる猛烈な雨が、熊本県から九州、西
日本、東日本へと広範囲に渡って降り
続いた。河川氾濫、土砂崩れ、床上浸
水等で内閣府のまとめによると死者が
82人(特別養護老人ホーム入居者の被
災者が多い)にも達した▼本県でも同
下旬には秋田市、由利本荘市、大仙市
で床上浸水の被害が出たほか、列車の
不通区間も発生した。気象庁では、後日
一連の災害を令和2年豪雨と命名した
▼世界的に大気の水蒸気量が増え、
地球温暖化による災害リスクに
よって、尋常でない豪雨はいつでも
牙をむくか分からないのが日本列島だ。
各地住民の避難対策の重要性は増すば
かりで、従来の防災対策の見直しも急
務といえる▼築山地区ではここ数年、
本社協と町内会長連絡協が連携し防災
研修を重ねてきているが、7月豪雨の
惨状は決して他人事ではない。身の回
りで起きたらどうするのか。垂直避難
は、近所への声かけは……。判断力を
含め具体的な状況に対応するイメージ
訓練も大事ではなからうか。
「9月1日は防災の日」 (北條 晃)

編集委員

北條 晃
加藤 俊悦
京屋 均
鈴木 夏代

コロナ防ごうしっかり消毒



新型コロナウイルスへの対応で、私たちの生活は一変しました。川口デイサービスでは、利用するお年寄りの方々には、来訪前に体温測定を行い熱がある場合は自宅待機をお願いしています。施設では、送迎バスをはじめ利用した椅子やテーブル、トイレのドアノブなどこまめに消毒。玄関にはアルコール消毒液を配置し、訪れた方は手指を洗浄するとともに体温なども記入してもらう用紙を備えました。気の抜けない日々が続いています。

第58号

令和2年9月1日

築山地区社会福祉協議会

発行人 加藤 俊悦
(題字: 茂林 憲子)

築山社協だより

コロナ禍の影響と 地区社協事業

築山地区社会福祉協議会

会長 加藤 俊悦

汲み取り賜りたいと存じます。なお、敬老会者様の皆様には、例年通りお祝い品を各町内会長様を通してお届けさせていただきます。ところで、これまで諸般の事情により「築山地区自主防災連絡協議会」の活動が停滞せざるを得ませんでした。関係者の熱意により、新たに組織の骨格を固めたり、えで再始動することになりました。町内会長連絡協議会、民生児童委員協議会とともに、当地区社協としても強く連携を深めながら当地区自主防災組織の充実に協力してまいります。

【お知らせ】「新型コロナウイルス感染症

の影響による生活費特例貸付について」
秋田市社会福祉協議会では、標記のことについての相談や申請の窓口を開
設しています。「緊急小口資金」はおも
に休業された方に向け、「総合支援資金」
は主に失業された方等向けで、生活費
を貸付しています。(詳細は班回覧用ち
らし参照)

《相談・申込窓口》

秋田市社会福祉協議会貸付担当
(0838-6477)
※窓口相談は予約制受付です。

令和2年度事業計画、予算

総会にかえて書面で表決

令和2年度の総会は、例年通り榎山コミセンで実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で開催を見送り、書面によって承認を求めるとしました。その書面表決の結果、新年度事業計画や予算など原案通り決定しました。主な内容は次の通りです。

◆2019年度事業報告

老人福祉事業として、9月17日に敬老会を開催。75歳以上の130人が参加し旧交を温めるとともに、保育園児や小学生の歌、遊戯、竿灯演技などを楽しみました。防災研修は7、10月に秋田市や日赤県支部の専門家を講師に行い、築山地区の危険箇所や災害への

備えなどの理解を深めました。特別事業では、5月にカラオケ大会を開いたのを皮切りに、11月までにグラウンドゴルフや軽スポーツ大会で親睦を図り、新年1月には保育園児と交流も行いました。また榎山コミセンのサロン活動に参加し、家にこもりきりな高齢者への対応にも積極的に取り組みました。

地域の福祉力向上へ7つの重点目標

◆令和2年度事業計画

基本を住み慣れた地域で「誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で」（秋田市地域福祉アクションプラン2019）としました。民生児童委員、町内会長、福祉協力員、自主防災組織、老人クラブ等の連携をさらに深め、住民が福祉活動へ参加できるような事業を展開し地域の福祉力を高めることを方針としました。

例年通りに活動の助成をいたします。なお、中通地区と当地区が連携・協力のもとに昨年度にスタートした「サロン・ならこみ」の事業にも助成することになりました。ご案内がありましたら是非お気軽にご参加ください。

加藤会長談話

昨年度の当地区社協の事業は概ね計画通りに推進することができました。特に、全戸へご案内の「防災研修会」には延べ200名の参加者を得ることができ、地区の防災・減災の意識を高めるうえで貴重な研鑽の場となりました。また、「軽スポーツ大会」「カラオケ大会」「グラウンドゴルフ大会」も大いに楽しんでいただきました。さて、今年度も地区の福祉諸団体各老人クラブや児童育成教育機関等に

例年通りに活動の助成をいたします。なお、中通地区と当地区が連携・協力のもとに昨年度にスタートした「サロン・ならこみ」の事業にも助成することになりました。ご案内がありましたら是非お気軽にご参加ください。

◆書面表決の結果
町内会長、社協役員、民生児童委員、福祉協力員合わせて116名に書面表決をお願いしました。その結果▽2019年度事業報告並びに収支決算報告
承認109、非承認0、無回答7
令和2年度事業計画並びに収支予算(案)承認109、非承認0、無回答7となり、承認されました。

- 1 高齢者の健康づくり、生きがいづくりのための活動を展開します。
- 2 高齢者の長寿を祝い老人クラブ助成など老人福祉の充実を図ります。
- 3 築山児童センター、きりんクラブ、5つの保育園などへ助成します。
- 4 災害時避難支援や安心キットを推進し研修や体制整備を充実します。
- 5 地区民児協などに助成し活発な活動を期待します。
- 6 社協だよりを年2回発行し、全世界に配布します。
- 7 軽スポーツ、サロン活動など地域交流を特別事業で展開します。

◆令和2年度予算

次ページに一覧で示しました。前年度予算に比べ、収入は約20万円の減額となりました。市からの敬老会助成金、繰越金などの減によるものです。支出は、園児・幼児福祉費の対象が5施設に増えたほかは、前年度と変わらない計上となりました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大で総会の開催ができなかっただけでなく、各種行事が軒並み中止になっていました。敬老会も式典や祝宴の取りやめとなりました。このため当初の事業計画の実施、それに伴う予算執行にも大きな影響は避けられません。会長談話にもありますが、本年度は状況を見ながらの対応となることをご理解ください。



社会福祉法人 榎山保育園 ならやま認定こども園

園長 越中 裕子

当園は、昭和48年に社会福祉法人榎山保育園「榎山保育園」として開設しました。平成31年4月、認定こども園(保育所型)「ならやま認定こども園」に名称を変更し、47年を迎えました。定員99名のこども園として新たにスタートしております。

また卒園した子どもたちが学校から帰ってからも安心して過ごせる場として、保育園に隣接した場所に平成21年に「放課後児童クラブ」を、保護者の方が安心してお仕事ができるようにと開設しました。

園内では、保育士、栄養士、調理師、看護師、事務員等、職種の違う36名の職員が子どもたちを温かく見守り、主体的に遊ぶ子どもの育成に努め、日々の教育・保育にあたっております。

こども園の周辺には、太平洋、金照寺山、足を伸ばせば駅東(こまち)公園やたまご公園等、山道や遊歩道、桜並木があり、四季折々の自然に恵まれたお散歩コースがたくさんあります。お散歩が大好きな子どもたちは、散歩を通して、あいさつを交わすことや言葉かけ合いながら、地域の方との関

わりを大切にしています。

竹馬を通して育つ心

また、今から45年前の昭和50年頃、地域の方がもってきてくださった手作りの竹馬をきっかけに、5歳児(ぞう組)が竹馬に取り組みようになり、ずっと今も続いています。冬の時期になると竹馬練習が始まり、毎日毎日、足の



竹馬の練習に励む園児たち

指が痛くなって皮がむけても、カットバンを貼りながら、夢中になって頑張っています。先に乗れるようになった子どもが一生懸命「ガンバレ!、もうちょっとだよ」と励ましてくれたり、乗れるようになると「やったー!」とまるで自分のことのように喜び合う姿に保育者は嬉しさを感じています。子どもたちは頑張る気持ち、思いやりの気持ち、達成感を感じて自信を持ってるといふ気持ちがあると思えます。また「ぞう組になると竹馬ができる」と年下の子どもたちは、憧れのまなざしでぞう組の練習を見つめています。

本園の卒園式は、お父さん、お母さんの前で子どもたち一人一人が竹馬に乗って技を披露します。「こんなことができるようになったんだよ」というように誇らしげに……。その我が子の姿を見て、今も昔も変わらずに涙する保護者の方がいらっしやいます。これからもならやま認定こども園の卒園式のスタイルとして、ずっと引き継いでいきたいと思っています。

地域の皆様に支えていただきながら、地域に根ざしたこども園として、安心して子育てができる環境作り、教育・保育内容の充実に一層努力していきたいと思っております。

問い合わせ先 ☎832-15008
(秋田市南通宮田16-130)

赤い羽根共同募金 皆様のご協力をお願いします

本年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まります。昨年も地区の皆様から温かいご支援を賜りまして有難うございました。

皆様からご協力いただいた募金は秋田市共同募金委員会(以下「市共募」)に全額送金され、県市の社会福祉活動の助成等のほか、各地区社協にも配分されるため、地域福祉を高めるうえで極めて重要な社会事業費となります。

秋田市では世帯数に応じ按分して各地区の目標額を決めています。また、各地区社協でも事業の推進に必要な目標額を設定して「市共募」に提出しています。募金の実績額が目標額合計を上回ると地区への配分金が加算されます。本地区は皆様のご協力により昨年も目標額を超えることができました。

「歳末たすけあい配分原資金」と合わせて、地区の福祉事業の推進や諸団体への助成などに充てることができます。昭和22年に、「社会事業共同募金中央委員会」が発足し、育児院・養老院・母子寮・療養所入所など、生活に困る方々の施設への資金寄付募金の始まりが「赤い羽根共同募金運動」です。「歳末たすけあい募金」も含めて、各町内会の皆様に今年度もご難儀をおかけしますが、共同募金活動の趣旨のご理解と募金への協力をよろしくお願い申し上げます。(築山地区共同募金会)

築山地区社会福祉協議会の 会計報告

2019年度決算及び令和2年度予算

収 入

単位：円

科 目	2019年度決算額	令和2年度予算額	予算に対する内容説明
1 会 費	1,107,800	1,090,800	360円×3,030世帯
2 共同募金一般配分金	763,694	796,832	令和元年度地区共同募金実績による配分
3 友愛訪問事業交付金	141,818	141,818	見守りネットワーク事業
4 助 成 金	1,298,538	1,280,000	地区福祉活動 484,800、健康支援他 795,200
5 補 助 金	1,439,000	1,400,000	敬老会(市からの補助)
6 寄 付 金	40,000	50,000	
7 諸 収 入	422	418	普通預金及び定期預金利息
8 繰 越 金	1,645,764	1,571,532	令和元年度からの繰越金
合 計	6,437,036	6,331,400	

支 出

単位：円

科 目	2019年度決算額	令和2年度予算額	予算に対する内容説明
1 会 議 費	89,251	150,000	総会、役員会、監査等
2 事 務 費	136,675	200,000	
3 老 人 福 祉 費	1,619,385	2,090,000	敬老会 2,000,000 3 老人クラブへ助成 90,000
4 児 童 福 祉 費	190,000	210,000	地区内幼稚園・保育園(5施設) 100,000 築山きりんクラブ 20,000 築山小学校児童育成 40,000 児童センター運営助成 50,000
5 災 害 見 舞 金	0	100,000	
6 研 修 費	173,867	500,000	市社協、Bブロック研修、防災等地区研修会他
7 助 成 金	170,000	170,000	築山地区民生児童委員協議会 40,000 築山学区町内会長連絡協議会 40,000 築山地区自主防災組織協議会 35,000 楯山コミュニティセンター 25,000 築山地区体育協会 30,000
8 広 報 費	421,700	450,000	築山社協だよりの発行(年2回)
9 慶 弔 費	4,428	50,000	
10 特 別 事 業 費	888,478	1,000,000	地域交流行事 500,000 高齢者への激励訪問 150,000 幼児と高齢者のふれあい行事 50,000 軽スポーツレクリエーション大会他 100,000 グラウンドゴルフ、カーリング大会 150,000 カラオケ大会 50,000
11 市 社 協 納 入 金	1,141,720	1,130,000	全戸会員会費 1,090,800 特別会費他 39,200
12 予 備 費	30,000	281,400	
合 計	4,865,504	6,331,400	

※ 上記の外に、基金として4,000,000円の定期預金(北都銀行楯山支店)

楯山大元町の奥羽本線ガード下の両壁に浸水の深さ(20cm、50cm、1m)を示す線が引かれた。市道路維持課によると、豪雨によって深20cmで車のマフラーに浸水し動けなくなる恐れがあるという。ご注意を(2月)



市民憲章推進協議会のメンバーが中心となって、桜の開花を前に太平川堤防のクリーンアップを行った。空き缶、スナック菓子袋など一掃された(4月5日)



地区の高齢の人たちは、楯山コミセン前の花壇の世話をしている。今年もパンジーの苗を植えた。6月にはマリーゴールドも(4月10日)

地域ボランティア活動を続けている(株)東海林印刷さんは、新型コロナの感染防止にと手作りマスクを作成し楯山コミセンなどへ、福祉協力員の佐藤政子さんも手作りマスクを秋田婦人ホームに、それぞれ寄贈し喜ばれた(5月)

新型コロナウイルスの感染拡大で楯山コミセンは、3月に活動を自粛し、4月には一時閉館。その後利用者上限数を定め再開し、7月1日からは通常に戻しつつ、飲食利用の場合は通常利用の半数に抑えている。

コミュニティセンターからのお知らせ

新型コロナウイルスの感染症対策により、
4月26日(日)まで
当館の利用はできません。

※他のコミュニティセンターおよび市民サービスセンターも同様に利用はできません。

ご理解とご協力をお願いいたします。

写真で見ると見るまわりの動き

地域活動

令和2年度 築山地区民生児童委員 (連絡先および担当町内名)

Table with 4 columns: 民生委員, No., 担当町内会名, and 民生委員. Lists names and addresses of community workers across various districts.

令和2年5月末現在

築山学区町内会長連絡協議会 会長:佐藤 秀一 副会長:田口 学、岡部 かず子 事務局:山上一之

Table with 4 columns: 町内会名, 会長名, 町内会名, 会長名. Lists district names and their respective chairpersons.

式典、祝宴は取りやめ

令和2年度 敬老会 記念品をお手元に

当地区社協で最大の事業である敬老祝賀行事は、巻頭言に取り上げたように新型コロナウイルスの影響で今年度はとりやめになりました。過去32年間一度も中止することなく継続され、さまざまな方々のご協力による「手づくり敬老会」として他地区から称賛をいただいた。ただだけに残念です。旧交を温める場として楽しみにしておられた皆様には、来年の再会に向けて健康にご留意いただきたいと存じます。今年度の敬老会該当の75歳以上の方々は、男性508名、女性854名、合わせて1362名となりました。百歳以上は9名です。ご長寿を心からお祝い申し上げます。また対象者の取りまとめに当たられた町内会長や班長の皆様には感謝申し上げます。1362

名の方々には、記念の品として商品券を贈らせていただきました。

町内会長連絡協など総会中止

築山学区町内会長連絡協議会、築山地区市民憲章推進協議会、築山地区保健推進員会、築山火災予防組合は、5

広がる新型コロナウイルスの影響 地区内

新型コロナウイルスの感染者は、秋田県内で42人(8月16日現在)です。全国的にみて下位から4番目という感染者数の少なさです。とはいえ築山地区の様々なところで影響が出ています。敬老会をはじめ保育園や小学校、コミセンなど主な状況をまとめました。

月に予定していた合同の総会を中止しました。コロナの影響を踏まえ、各団体は役員会で総会の開催は困難と判断しました。いずれも監査会は開き決算を承認。前年度の経過報告、決算書、令和2年度の運動方針や予算書などを各町内会長らに郵送し、総会に替える措置が取られました。

サロン・ならこみ、12月に予定

サロン・ならこみは、発足した前年

した。

築山児童センターは、築山小学校と連動し休館となりましたが、3月23日からは1、2年生に限定して開館。4

築山小、児童センター、保育園

築山小学校は3月から臨時休校となり、そのまま4月5日まで春休みに。3月13日の卒業式は、卒業生と保護者、教職員のみで実施。4月6日から新学期が始まり、同8日の入学式は新入生と保護者、一部来賓、教職員のみでした。その後13日から再び休校となり運動会は中止。5月11日から再開となったものの教室では窓を開け、机の間をできるだけ開けて授業を行っています。また夏休みは8月1日〜19日となり半減しま

月1日からは新1年生も加わり、通常に戻ったのは5月11日。児童の受付簿には新たに元氣チェック項目を設け△印だったらその場で検温するほか遊戯

室や図書室では密にならないように声を掛け、遊具の消毒も続けています。保育園の休園は、各園の判断に任せられていました。地域内5保育園はいずれも休園は行わず、細心の注意を払って保育に当たっています。保護者には登園前に検温をして具合が悪ければ自宅待機を願います。園内では手洗い、うがいを励行し、保母さんや職員も同様で、給食の納入業者には玄関先で受け取るなどしていただきます。

榊山コミセンが一時閉館に

度2回開き、多くの参加者から喜びました。本年度は4回の開催を計画し準備を進めてきましたが、今のところ12月13日の開催を予定しています。

榊山コミセンは、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて3月9日から3月末まで利用を自粛することになり、活動していたサークルに連絡しました。その後5月10日まで閉館となりました。同11日からは利用再開となりましたが、密な接触を避けるため体育館や会議室、和室などの利用者数の上限が設けられました。7月1日からは飲食や調理室の利用の場合は、通常利用人数の半数程度という制限を設け、3密を避けつつの活動に戻っています。利用に際しての細かな留意点など詳しくは事務局(☎834・9844)へお問い合わせください。

飲食、調理室の利用上限目安

Table with 3 columns: 室名, 収容人数, 利用人数. Lists room names and their respective capacity and current usage.